

# 宮崎けい子



豊島区リサイクル・清掃審議会のメンバーとして一般廃棄物処理計画やごみ減量施策について議論を行ってきました。今年の3月に第五次豊島区一般廃棄物処理基本計画が策定されました。

東京都では、家庭ごみ有料化を含むごみ減量施策の議論が進んでいます。豊島区でも、リサイクル推進や食品ロス削減、資源循環のあり方について検討が続けられています。ごみ問題は、環境だけでなく、家計や暮らしにも関わる身近なテーマです。いま、ごみ行政は大きな転換期を迎えているのではないのでしょうか。

## 豊島区の現状

出典：第五次豊島区一般廃棄物処理基本計画 令和8年3月

項目	現状	今後の目標・課題
1人1日あたりのごみ量	452g (2024年度)	373gへ削減目標 (2040年度)
ごみ総排出量(年間)	50,322t (2024年度)	さらなる減量施策を検討
資源化率 (リサイクル率)	25.1% (2024年度)	27.1%を目標 (2040年度)

## 今後の重点施策

- ・リデュース・リユースによるごみの排出削減
- ・区民・事業者への啓発・情報発信
- ・プラスチック資源回収推進及び更なる資源化の促進
- ・適正分別・適正排出の徹底



## 家庭ごみ有料化の議論

東京23区では現在、家庭ごみ収集は無料で行われています。一方、東京都や特別区長会では、最終処分場の延命やごみ減量を目的として、家庭ごみ有料化を含む施策について検討が進められています。

最近の報道では、指定ごみ袋制の導入や、1リットルあたり1円程度の料金設定、有料化によるごみ排出量削減効果などが議論されているとされています。

また、全国では約7割の自治体が家庭ごみ有料化を導入しており、東京都多摩地域でも実施している自治体があります。

# 今日からできる ごみの減らし方

東京都で進む「家庭ごみ有料化」の議論  
今からできるごみを減らす暮らし方を学ぶ

6/25 木 10:00~11:30  
(定員20名90分講座)

豊島区长崎2-1-8 2階  
サミット裏不動産2階

講師：梅舟由佳さん  
(ごみゼロアクション協会の代表)

参加無料  
途中参加OK!  
途中退席OK!

## 東京都で家庭ごみが有料に？

東京都で家庭ごみ有料化の議論が進んでいます。「もし、ごみ袋が有料になったら…?」ごみは減らしたいけれどどうすればいいの? 今回のワークショップでは、日々の「ごみ」と向き合い、家計にも地球にもやさしい暮らしのヒントを学びます。

## 今日からできる5Rの考え方

- Refuse (断る：過剰包装を断る)
- Reduce (減らす：使い捨てを避ける)
- Reuse (再利用する)
- Recycle (資源化する)
- Rot (土に還す：生ごみの堆肥化など)

## 内容

- なぜ今、ごみを減らす必要があるの?
- 東京都のごみ問題と有料化の最新状況
- ごみ削減が「物価高対策」にもつながる理由
- 今日からできる! 「5R」の考え方
- リフューズ(断る)から始めるごみ減らしの極意
- 家庭ごみ・生ごみを賢く減らす、ちょっとした工夫と事例紹介

## 事前準備

「わが家の出すごみリスト」  
(1週間にどんなごみが出たかメモしてきてください)

参加される方はマイカップの持参をお願いいたします。

身近なごみ問題について、みんなで楽しく意見交換してみませんか?

お申し込みはコチラ!



TEL : 080-5294-1140

MAIL : keiko.miyazaki.mi@gmail.com